

令和 5 年 11 月 30 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…小規模多機能型居宅介護 ひびすくす

サービス種類…地域密着型サービス

会議開催日…令和 5 年 11 月 29 日

開催場所…ひびすくす ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	1 人
利用者家族	人	地域代表者	人
松江市職員	1 人	包括支援センター	人
知見を有する者	人	その他 ()	人

議事

活動状況報告

※別紙報告書参照。

意見交換

※別紙議事録参照。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	

小規模多機能型居宅介護 ひびすくす 運営推進会議報告書(10/11月)

R5年11月29日現在

・利用定員

登録 25 名 (男性 5名 女性 20名)

新規登録者 4 名 (10/1～)

・平均介護度 1.85 ・平均年齢 85.6 歳

要支援 1 3 名 要支援 2 2 名

要介護 1 9 名 要介護 2 4 名

要介護 3 2 名 要介護 4 5 名

要介護 5 0 名

●行事について

10/4(金) 外出行事 松本蕎麦店

10/25(水) ハロウィンパーティー (スイートポテト作り・仮装レク)

10/27(金) 外出行事 レストランすず奈

10/30(月) 干し柿作り

11/6(月) 誕生会 (フルーツサンド作り)

11/28(火) 避難訓練

11/30(木) お楽しみ昼食会 (カレー作り)

●活動状況

10月

- ・10/4(金)、松本蕎麦店へ外出しました。温蕎麦・冷蕎麦・稲荷寿司など楽しまれ、普段小食のご利用者も美味しく完食されました。
- ・10/25(水)、ハロウィンパーティーを行いました。前半は、餃子の皮を使って簡単にできるスイートポテトをご利用者様に調理していただきました。後半は、雰囲気ガラッと変えて、職員やご利用者が仮装をして、物まねレクリエーションを行い、沢山笑顔が見えました。パーティーの最後に、焼き立てのスイートポテトを紅茶と召し上がり、記念写真を撮影しました。
- ・10/27(金)、姉妹施設のケアハウス回生館行事にて、外食へご利用者が一名参加されました。いつもと違う高尚な雰囲気でお気に召したようでした。
- ・10/30(月)、干し柿作りを行いました。ご利用者様方に皮剥きや紐付けをお任せし、合計100個の干し柿ができました。今年は2週間ほどで完成し、完成した干し柿はご利用者様でお茶会を開き、煎茶と一緒に召し上がっていただきました。出来上がりは上々とのことでした。

- ・11/6（月）、誕生会を行いました。前半でご利用者様にお好きなフルーツを挟んで、フルーツサンドイッチを作って頂きました。後半にて、誕生者の方のお祝いや歌を披露後、冷やしておいたサンドイッチを召し上がりました。初体験の方ばかりで、「最近はこの物が流行るのですね。家でもやってみよう。」との感想も頂き、調理も楽しかったご様子です。
- ・11/28（火）、避難訓練を行いました。
消防の通報訓練、ご利用者も一緒に避難・消火訓練をしました。火元発生から3分55秒にて避難終了しました。本当の火事が起こったときは、この様にスムーズにいかないことを念頭に、今後は夜間や近所で火事が起こった場合など、色々なシュミレーションを想定した訓練を行う予定です。
- ・11/30（木）カレーライスを計画しています。カレー作りはご希望がとても多く、皆さん楽しみにしておられます。一番初めの調理からご参加されますので、安全面・衛生面に十分に気をつけながら楽しい行事になるよう、努めます。

●今後の活動・レクリエーション予定

- ・12/5（火）外出行事（寿司屋・徳さん）
- ・12/12（火）誕生会
- ・12/26（火）クリスマス忘年会（おでん鍋、余興など予定）

●ヒヤリハット・事故報告

◎ヒヤリハット

- ・日中夜間とも、いつの間にか起き上がって、ベッドからずり落ちそうになっておられる。
→扉を少し開けさせていただき、起床の気配あれば都度訪室する。
- ・普段車椅子全介助対応の転倒歴のあるご利用者様が、ベッドから立ち上がって、タンスの上の時計を取ろうとされる。
→ベッドからでもタンスがかまえるように、タンスを近づける。携帯や時計など、ご本人が気になるものは、小物入れを作って枕元に置くようにする。
- ・夕食後菓のセットが間違っていた。※ご利用者へ提供前に薬を確認した職員が気づき、誤薬を防いだ。
→今回はチェックの2回目で気づき、事故に至らなかった。トリプルチェックをしっかりと行い、特に薬の取り扱いについては、一つ一つ确实丁寧に取り扱う。

◎事故報告

接遇の事故あり。

転倒リスクが高いご利用者様へ、危険行為を注意する際、職員の声掛けがきつい印象を与えてしまった。その後ご本人に心の落ち込みがあり、ご本人様やご家族様へご報告とお詫びを行った。その後、職員間や法人内で、この事例について報告書としてあげ、周知する。職員は初心に戻り、各々の接遇の見直しに努め、今後心のケアについても、質の向上を目指す。

●職員研修、スキルアップ関係

10月、介護リーダー：防火管理者講習修了。

●10、11月について

感染症について、インフルエンザ流行を大変身近に感じました。

ご利用者のご家族もインフルエンザに罹患された方がいらっしゃいましたが、ご家族様からの情報提供やご協力により、水際で何とか防ぐことが叶いました。

ただ、小さな子供がいる職員も多いですので、職員本人だけではなく、その家族の健康も守っていかねばならない状況です。

ご利用者様に不利益が生じないよう、日頃からの自己管理と感染対策の継続に努めます。

11月は晴れ間が多くありましたので、時間を見つけては近所の散歩へ出かけました。最近は一気に寒くなってきたため、今後は屋内での生活がほとんどとなります。特に在宅で一人暮らしの方には、室温調整など自宅環境が心配されます。ご家族や主治医との連携を密にとりつつ、感染症はもちろん、脳血管障害や心不全などのリスクから皆様を守り、健やかに年末年始を迎えられるように支援致します。